

会津産業ネットワークフォーラム（ANF） 令和 5 年度事業総括

令和 6 年 3 月末現在の正会員企業 85 社、賛助会員 7 社で、会津地域 17 市町村を中心に活動を続け、会員企業が立地する各自治体（12 市町村）及び 7 教育・研究機関（会津大学、ポリテクセンター会津、テクノアカデミー会津、会津北嶺高校、会津工業高校、喜多方桐桜高校、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）にも特別会員として連携支援をいただいております。

また、会津若松商工会議所等、会津地域の団体はもとより、東経連ビジネスセンター、郡山地域テクノポリス推進機構等、県内外の関係団体とも引き続き、連携体制を構築してまいりました。

令和 4 年度からは「IoT プロジェクト」のインダストリー 4.0 モデルを実現したプラットフォームを会津地域にとどまらず、他地域とも連携し広域における展開・運用を目指し取り組んでいます。

また、令和 5 年度からは、地域人材の確保の為の新事業にも取り組んでいます。

令和 5 年度の事業計画に対し、実施した具体的な取り組みの概要は次の通りです。

1. 会議の開催

「幹事会」と「運営会議」を合同で 3 回開催し、事業運営の審議を行いました。また事務局会議を 3 回開催し、主に幹事会への提案内容等の協議を行いました。

2. 企業間交流連携・販路拡大

1) 技術プレゼン会の 1 回目では、賛助会員のロボコムアンドエフエイコムの工場見学を軸に、浪江町の水素研究フィールド、南相馬市の右川ゴムの工場見学バスツアーを開催しました。2 回目は、マコト精機で工場見学と併せて開催しました。工場見学では機械音の中でも説明者の話しや質問に対する回答が明瞭に聞きとれるよう「無線インカム」を使用しました。

2) 販路拡大プロジェクトでは、機械要素技術展への共同出展等を通し連携を推進してまいりました。

3) 東北大学名誉教授の堀切川一男氏による御用聞き訪問を 5 月と 11 月に実施しました。

会員企業を延べ 9 社訪問し新商品開発のキッカケとなる提案や技術相談などに対する支援を受けました。

4) 経営者会は、人気の講演者である浜野製作所代表取締役 CEO の浜野慶一氏を講師にお迎えし「東京・下町・町工場の挑戦！」と題し講演会を開催し、併せて、新春交歓会も開催しました。

5) IoTプロジェクトでは、ANF を核としたものづくり分野におけるデジタル化、データ連携などによる中小企業の生産性向上に向けたインダストリー4.0 モデルを実現するプラットフォームが本格稼働しています。現在、関心を持つ会員企業のフォローを進めながら、他地域で関心を持たれる企業や団体からの、視察・意見交換などの依頼にも対応しています。

また、会津若松商工会議所で企画した DX セミナーの中で、デジタル化推進企業から学びたいとの依頼があったことから、マツモトプレジジョン社のご協力をいただき講演・情報交換会を行いました。

3. 大学及び関係機関との連携

中堅社員の集いでは、昨年度に引き続き、8月にSAP ジャパン様のご協力の元、「デザインシンキングを体験し学べるワークショップ」を開催しました。

4. 人材育成

産業人材の育成については、新入社員研修・旋盤講習・フライス盤講習・QC検定講習会を開催。令和5年度からは、これまでコロナ禍で開催できなかった保全技能教育・危険体感教育・部下育成セミナーを開催しました。また、ポリテクセンター福島 の委託事業の生産性向上支援訓練は、製造業に不可欠なムダの排除及び工程改善、QC7つ道具活用セミナー、安全衛生に関するセミナーを開催しました。

5. 会員の拡大・周知

令和5年3月末現在の会員数は、正会員79社、賛助会員7社、特別会員19機関(12自治体含む)でした。令和5年度は、正会員が6社入会、1社退会により、令和6年3月末現在の会員数は正会員85社、賛助会員7社、特別会員19機関(12自治体含む)となっております。

以上